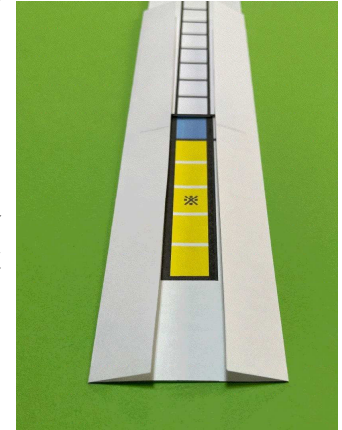


# 折り返し式テープ図教具 その① くらべール

2025.8 算数工房

らくらくタイルやテープ図3兄弟などのスライド系の教具には窓開けが必要だ。たくさん作るとなると、時間がかかる作業になる。大きな数の電車の窓開けをカッターナイフからポンチに変えることが出来たように、これらの教具の窓開けも工夫できないかなと考えていた。

クリアポケットを使うんだから、両側から折り返す（窓ではなく”すき間”になるが）だけではうまくいかないだろうかと考えた。らくらくタイルの型紙を修正していたところだったので、「折り返し式」を作ってみた。写真が試作品。両側から折り返しているだけだから、カッターナイフで窓を開けるよりはずいぶん簡単になる。ラミネート不要、窓開け不要でずいぶん省力化になる。（※スライド板はラミネートの必要がある）



使い方は算数工房教具作り①参照（動画もあり）

くらべール・くらべールⅡ、テープ図navi（テープにおまかせ）

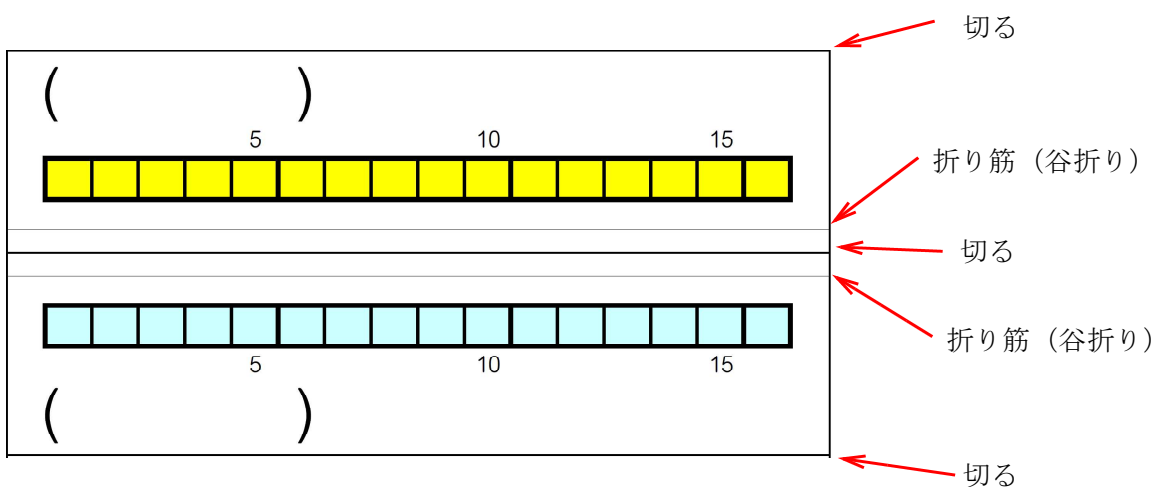
## 準備物

- ・使ったクリアポケットはセリアで買った。  
ロングステッカー用（53 × 157 mm）  
チケット用スリーブ（82 × 184 mm）
- ・スライド板は型紙をラミネートしておく。
- ・千枚通し（折り線をつけるため）

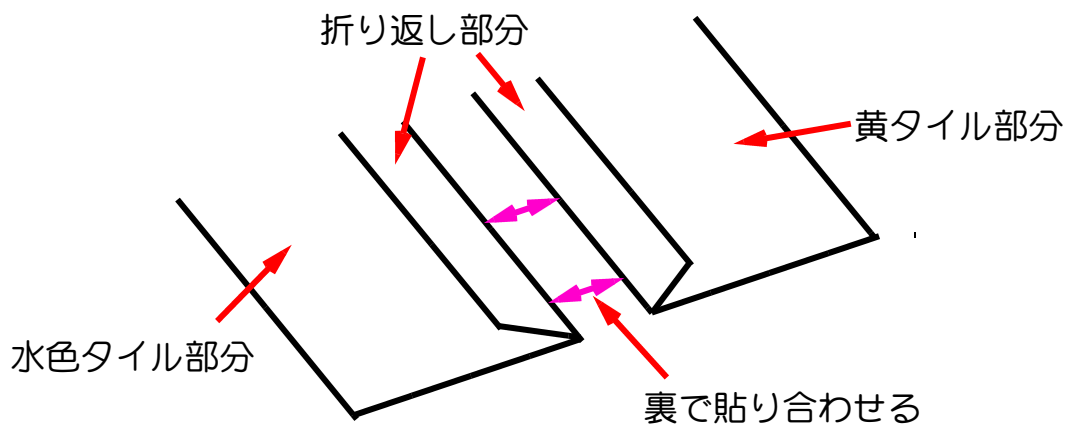


## 「くらべール」の作り方

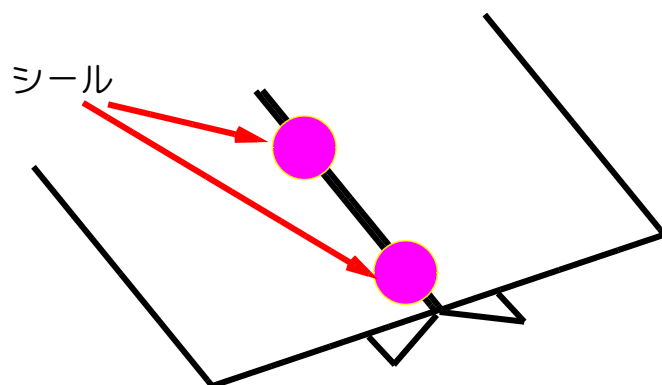
\*型紙を印刷し、下のように切り離し、また折り筋をつける。



\* 折り筋のところで谷折りにする。



\* 裏向けにして、貼り合わせる。シール、マスキングテープ、セロテープなどがいいかな。

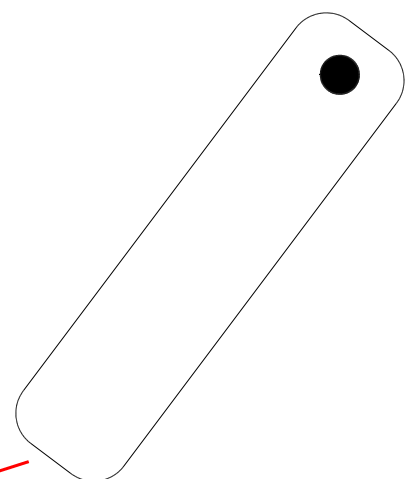
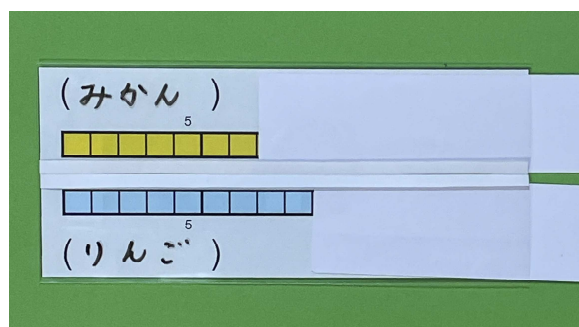


\* チケット用スリーブ (82 × 184 mm) の方に入れる。

\* スライド板は、白紙をラミネートし、幅 36 mm のスライド板を作る。

角は「かどまる」などで角を取る。

完成！



※スライド板の●部分に、取っ手を付けた方がいいでしょうね。

※白表紙などで、ひと回り大きな台紙に貼り付けた方が使いやすいかな。

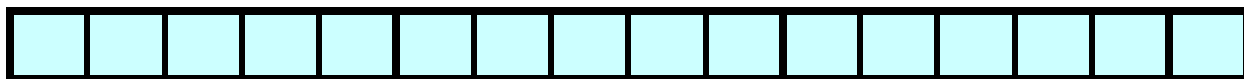
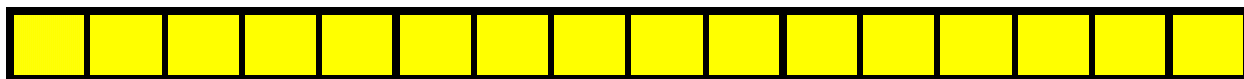
( )

くらべール

5

10

15



5

10

15

( )

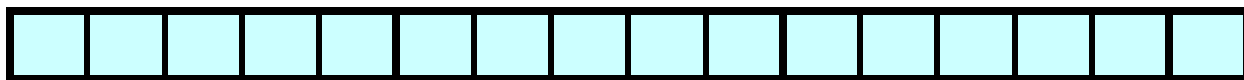
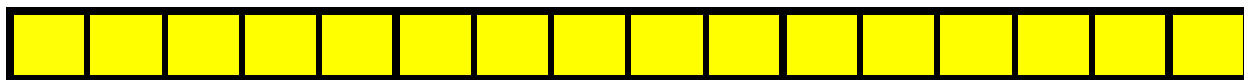
( )

くらべール

5

10

15



5

10

15

( )

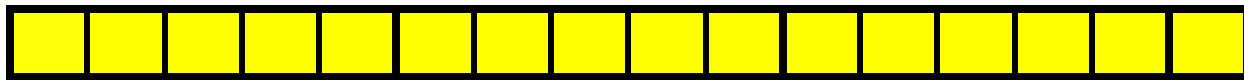
( )

くらべール

5

10

15



5

10

15

( )